

「(仮称)宮城加美風力発電事業計画段階環境配慮書」に対する技術審査会答申(案)の形成

答 申 案	技術審査会からの指摘・質問事項	備 考
<p>【1 全般的事項】</p> <p>(1) 事業実施想定区域の設定には、複数案の提示が必要である。事業区域を絞り込む手法を用いることができるのは、立地条件から事業の位置が制約される場合や、既に上位計画で事業の位置・規模が決定している場合などであるため、当該手法がこの条件に該当する理由及び当該区域の絞り込みの過程等を方法書に記載すること。</p>	<p>① 計画段階配慮書というのは原則複数案の提示となっているが、今回提示されているのは、位置の提案、それも絞り込みの提案だけとなっている。複数案の設定が困難な理由、絞り込みの経緯等について、適切に方法書に記載すること。</p>	<p>【山本委員】</p>
<p>(2) 今回の事業実施想定区域は、県立自然公園船形連峰及び荒沢県自然環境保全地域にかかっており、周辺には薬菜山や集落等も存在し、多くの環境要因への影響が考えられる。この地域に関する方法書の作成に当たっては、風車の配置のほか、送電線の設置やアクセス道の拡幅等も含め、調査、予測、評価に当たっては、環境アセスメントの趣旨に基づき、最新の知見を用いることや専門家の意見を聴くなどし、適切に進めること。</p>		<p>事務局</p>
<p>(3) 事業実施想定区域近傍にダム等の他事業がある場合は、参照できる知見やデータを用いて、関連する環境要素に係る累積的影響についても調査、予測及び評価すること。また、他事業における評価方法・内容について齟齬がないように方法書以降の図書を作成すること。</p>	<p>⑩ 周辺にダム事業等、別の事業が存在する場合は、その事業との複合影響、評価の仕方・内容についても齟齬がないように対応する必要がある。</p> <p>③ 例えば漆沢ダム北側の住宅について、騒音の影響が単に本事業だけでなく、実際にダムから出る音圧などの影響がある。騒音の予測については、本事業による影響だけでなく近傍事業の音圧分布もきちんと見ながら、加算した結果どのような影響を及ぼすのかについて配慮していただきたい。また、変電設備等の影響についても加味していただきたい。</p>	<p>【由井委員】</p> <p>【岩谷委員】</p>
<p>(4) 事業実施想定区域周辺の地域住民、地元自治体及び関係者に対して、環境影響に関する情報を積極的に提供するとともに、理解を得ながら事業を進めること。</p>	<p>⑫ 風力発電の環境影響や危険性について住民の理解を得ることが重要と考える</p>	<p>【石井委員】</p>
<p>【2 個別事項】</p> <p>(1) 地形及び地質</p> <p>重要な地形・地質がないとして重大な影響は評価しないとしているが、地すべり地形分布図等により適切に地すべり地全体を把握した上で、事業を行ったときの影響について調査、予測し、重大な影響の有無について評価した上で方法書を作成すること。</p>	<p>② 地すべり地形分布図等により適切に地すべり地全体を把握した上で、事業を行ったときの影響を考えていただきたい。</p>	<p>【伊藤委員】</p>

<p>(2) 動物 コウモリ類には渡りの習性を持つコウモリもいることから、方法書以降の図書では、コウモリ類の渡りについても、経路や生息状況等について評価すること。</p>	<p>④ 動物の評価について、渡りするコウモリもいることから、方法書では、これについて配慮いただきたい。</p>	<p>【由井委員】</p>
<p>(3) 植物 イ 植物の重要な群落は、群落の成立要件として地形的な特異性があり、直接改変を行わなくても近傍を改変することで生育環境に重大な影響を与える可能性があることから、群落の成立要件を含めて調査、予測し、重大な影響の有無について評価した上で方法書を作成すること。 ロ 事業実施想定区域には、生物多様性の保全上で重要な半自然草地なども含まれていることから配慮すること。</p>	<p>⑤ 植物の重要な群落については、沼沢地では群落が成立するための何らかの地形的な特異性があり、直接改変しないまでも、近傍を改変すると成立要件が崩れることがある。このため、特殊な群落の成立要件も含めて評価するとよい。 ⑥ 植物について、生物多様性の保全上で重要な半自然草地なども含まれていると推察されるため配慮が必要と考える。</p>	<p>【牧委員】 【野口委員】</p>
<p>(4) 景観 薬菜山及びその周辺は、非常に重要な景観であることから慎重な対応を取ること。 イ 主要な眺望点の他、薬菜山の風景が撮影されている地点も加えるなどして、予測し、重大な影響の有無について評価した上で方法書を作成すること。 ロ 風車は視認性が非常に高く誘目性もあるため、調査、予測に当たっては、視角変化を踏まえた垂直視角の下限値の見直しなど適切な方法により方法書を作成すること。 ハ 方法書以降の図書では、送電鉄塔の設置に伴う景観への影響について評価すること。</p>	<p>⑦ 薬菜山周辺は、宮城県では自然景観の価値を利用して経済活動を行う非常に大事な景観であるため、その薬菜山への眺めに影響を与えるということは地域経済そのものに影響を与えることになることから、景観について極めて慎重な対応をとっていただきたい。 ⑨ 景観の眺望点の選定について、主要な眺望点の他に薬菜山の風景が撮影されている地点も加えて景観の予測・評価を行っていただきたい。 ⑧ 風車の見え方を送電鉄塔の見え方からの類推で扱っているが、風車は動くものであるため、垂直視角が同じであっても視認性が非常に高まる。さらには誘目性まであるため景観への影響は送電鉄塔よりも遥かに大きいものとなる。このため、今回垂直視角1°で予測を行っているが、もっと慎重に、周辺までより対象を広げていただきたい。 ⑩ 方法書の段階から送電鉄塔の配置検討も加えた上で、景観の影響についても評価いただきたい。</p>	<p>【平野委員・石井委員】 【平野委員】 【平野委員】</p>